

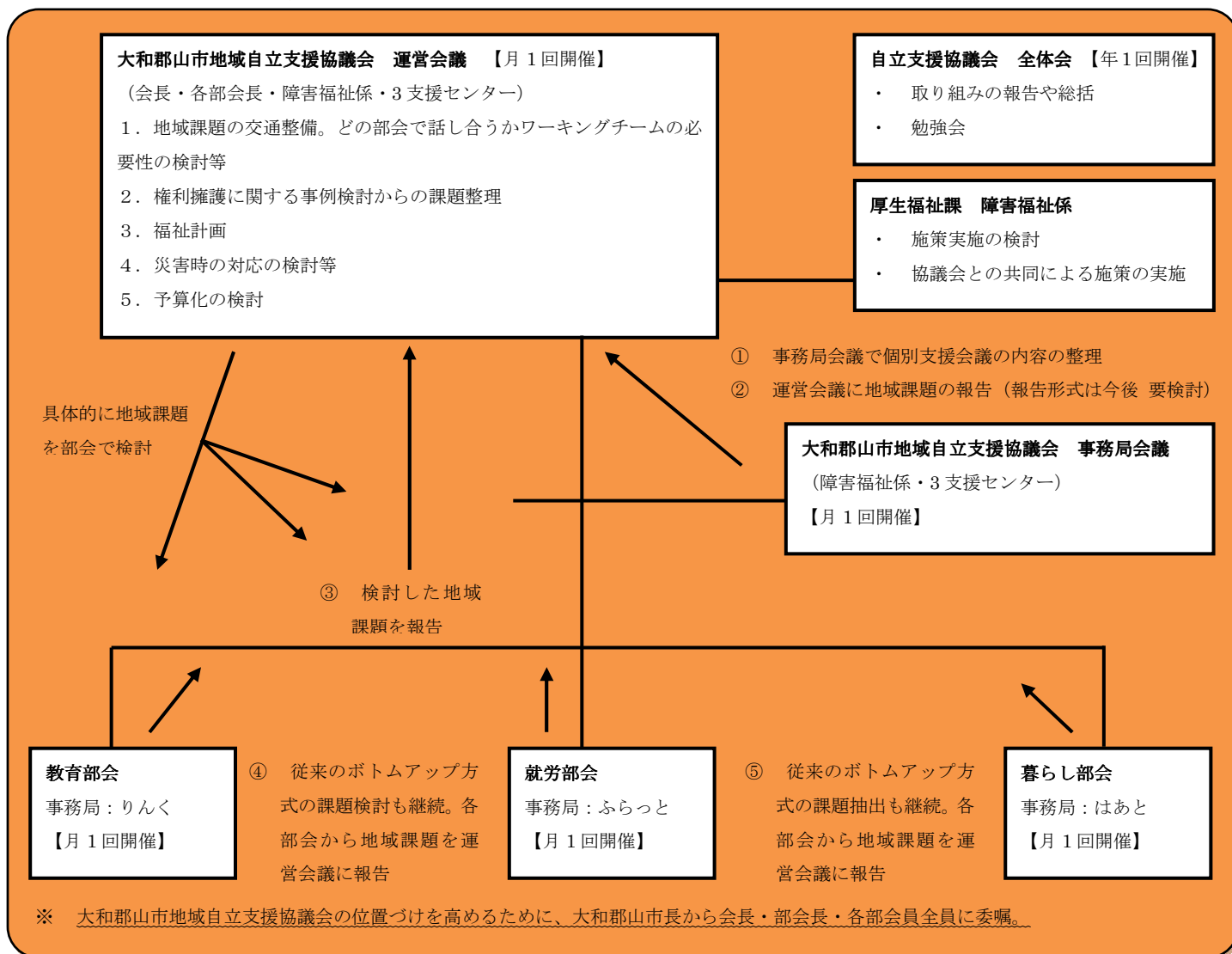
大和郡山市地域自立支援協議会について

大和郡山市は平成19年2月地域自立支援協議会を立ち上げました。障害当事者と各関係機関、民生委員、福祉サービス事業所など様々な立場の方々が集まり、権利擁護部会・精神障害部会・教育支援部会・就労支援部会・居住移動支援部会の5部会に分かれ、障害のある人の地域生活における地域課題を共有し、暮らしやすい生活をどのように実現していくかを検討し、地域のシステムづくりへとつなげてきました。

また平成23年度からは新たに、教育部会・就労部会・暮らし部会の3部会に再編成され、引き続き地域生活における障害のある人の地域課題の解決に向けて取り組んでいます。

障害のある人の生活やとりまく環境・地域の課題を知り、理解し、一緒に考えることが、障害のある人もない人も誰もが住みよい街づくりにつながります。自立支援協議会は、誰もが生きいきと安心して暮らせる街を目指しています。

【地域自立支援協議会組織図】

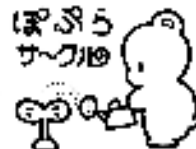


教育部会

教育に関わる地域の課題(障害のある児童や家庭を支える仕組み、放課後や長期休暇等の居場所、等)について、地域の状況を把握しながら課題を共有し、暮らしやすさに変えていくための取り組みを検討しながら活動しています。

○ぼぶらサークル

特別な支援を必要とする子ども達の保護者が集まり、共に語り互いの悩みを分かち合い、それぞれのニーズに向けて解決の糸口をさがしていくことを目的にH19年5月に結成しました。母親が集まって悩み等を伝え合いながら今後の糸口を見出す座談会や勉強会等を行っています。障害のある児童の居場所、様々な経験の機会としてのイベントや動作法訓練教室「らくらくきんぎょくん」等をおこなっています。



○大和郡山市特別支援教育連携・情報網<k-ネット>

学習や行動面、生活等に問題や課題がある児童生徒の支援や指導に関して連携してあたるため、自立支援協議会教育部会に属する学校をはじめとする関係機関との窓口と連絡を取り、連携を図りながら対応しています。

○特別支援教育について

小・中学校や特別支援学校で、放課後プランや各校の特別支援教育の取り組みなどの情報交換を行っています。また、教員、保護者の啓発のため、教育委員会と教育部会の共催で研修会を夏に開催しています。

○地域課題の共有

障害手帳を取得することができない、発達障害のある児童生徒について、その課題やニーズを福祉計画に反映するために、教育委員会と連携して部会独自でアンケート調査を実施し、その結果を大和郡山市に提出しました。また特別支援学校でも同様のアンケート調査をおこない、それぞれが抱える生活のしづらさやニーズの把握をすすめました。その中から、緊急時の生活マップを作成しました。



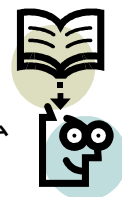
○放課後の居場所作り

放課後等の居場所づくりとして、大和郡山市社会福祉協議会に協力を得ながら、すすくキッズひろば(音楽療法教室・図工教室)を開催しています。また、体操教室も新規事業として取り組み始めています。



○サポートブックの作成

ライフステージが変わっても特性に応じた支援が継続されることを目的としたサポートブックがH23年度に予算化され、実践的に活用しやすいように話し合いを重ね、こおりやまサポートブックが完成しました。市内在住の幼稚園、保育園、小・中学校、特別支援学校に配布し、市のホームページにも掲載しており、勉強会も開催しました。



就労部会

就労に関することを協議する部会です。具体的な取り組みは・・・

○一般就労

・企業向けのパンフレット作成:一般就労につながるパンフレット『障害者雇用を応援します』を作成し、市内の企業に配布(10/07~11/12)

- ・事例検討:一般就労中で、消費者金融から借金し生活費が足りない事例を検討・情報交換(09/05)
- ・研修会への参加・報告(07/09～)
- ・障害者雇用促進を目的に企業の意識・雇用状況の把握のためにアンケート作成に向け検討(12/1～)

○福祉的就労

- ・授産品販売の促進:＊イベント三の丸祭・お城まつりにて、共同販売(08/11～) ＊イオン内での出店や販売について検討(09/9～) ＊イオンナイスハートバザールへの共同参加(10/11～) ＊大和ふれあいリレーマラソンでの授産品販売(10/3～)
- ・一般就労に向けた訓練の場の確保:旧片桐高校を活用した、就労支援について協議(09/11～)、2011年1月より、三障害対象の就労移行事業所『BonCafe』の開始



○一般就労及び福祉的就労共通

- ・就労に関する各種情報を共有するためのネットワーク作り(07/02～)
- ・障害福祉計画への提言:障害福祉計画策定に向けたアンケート項目等の検討、施策の向上を図るために市に提言(08/05～)
- ・就労パンフレットの作成:就労を目指す当事者に、就労に関する支援機関や種々の制度についての情報提供のため作成し、広く配布(08/07～)
- ・余暇支援:働き続けるため、仲間作り、交流等を目的とした余暇支援として、「ほっとサロンきんぎょ」～毎月第4木曜日19時から三の丸会館にて～開催(08/09～)



暮らし部会

暮らし部会では全ての障害のある人が、自らの住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりに向けて取り組んでいます。取り扱う課題が多岐にわたる為、現在『医療』・『緊急時』・『住まい』の3つの作業部会に分かれてそれぞれの課題に向けて具体的に取り組んでいるところです。

○医療作業部会

大和郡山市での相談会の企画や、医師と支援体制を構築していく為の支援チームの作成、また障害を持つ人たちの通院に参考になるような医療機関資源マップの作成や、地域や医療機関に対しての障害者の医療についての理解の啓発や職員の研修会等を検討しています。



○緊急時作業部会

地域生活を送る上で、親の入院、体調不良、冠婚葬祭時等の緊急時に対応してくれる事業所が少なく、また短期入所の利用も進んでいないことから、実際に利用可能な施設の短期入所の受け入れ状況を確認する為のアンケート調査の実施、そしてより短期入所が利用しやすくなるよう情報を整理したガイドブックを作成したいと考えています。



○住まい作業部会

グループホームやケアホームなどの住む場所が不足していると言われていますが、大和郡山市にある資源で何が不足しているのか実態を把握する為にも、大和郡山市内に存在する福祉サービスについてのアンケート調査を実施し、そのアンケート調査の結果をもとに、大和郡山市の福祉サービスの資源マップを作成することになりました。

